

**Report
File number
②**

松尾山修験道回峰行実行委員会 町内35kmを歩く修験道回峰行



①いよいよ回峰行のスタート
②福本さんを先頭に覚円寺を出発
③④食進会の方方が作ってくれた「山伏弁当」

⑤松尾山で記念撮影

松尾山回峰行実行委員会の皆さんは、参加者の安全のために事前の下見と練習に時間を費やし、上毛町に来てくれる多くの方に喜んでもらえるように、おもてなしの心を大切にしていました。

参加者72名全員の名前を覚えるために何度も名簿に目をとおす代表の福本利三さんの表情は真剣で、责任感に満ち溢れています。

11月6日(土)の早朝6時に、リュックサックを担いだ人たちがふれあいの家京築に集まつてきました。目的は今年で3回目を迎えた松尾山修験道回峰行に参加するためです。今年のコースは松尾山の山伏たちが行っていた峰入修行の行場のうち、町内に残る行場を巡る全長35kmの荒行です。コース設定が厳しくなったにも関わらず毎年参加者が増加し、今年は最高の72名が参加しました。

出発前に福本さんがコース中盤の難所「雁股山」への登頂ルートを説明し、「自信のない人は遠慮なくリタイヤしてください」と一喝。気合の入った参加者たちは朝7時に出発していきました。

最初の休憩ポイントは尻高の「覚円寺」。ここから見える雁股山は遠く霞んでいて、本当に完歩できるのか不安でしたが、参加者の

雁股山の山頂への道のりはまことに荒行だったようで、急斜面が乗り越え、出発から11時間後には、ほとんどの方が難所を無事に乗り越え、全長35kmの回峰行を成遂げました。

参加者は疲れた体を大平樂の温泉で癒した後、食生活改善推進協議会の方々がこの日のために研究して作った「山伏弁当」に舌鼓を打ちながら、厳しかった回峰



⑥満行証を受け取る参加者の皆さん

**Report
File number
①**

篠上東Music-Lovers' みんなで作るコンサート



①篠上東Music-Lovers'の皆さん

第7回すがりコンサート

代表の貴村和恵さんを中心とするメンバーや、全員の思いやりの心と奏でる音色は、会場に足を運んだ方の心に大きく響きたくさんの元気を与えるものでした。みんなの汗の結晶である手づくりコンサートは、上毛町の大きな財産として誇れるものになつたようです。

11

月13日(土)に東上集会所で開催されました。開演時間の19時になると会場は満席に。これは「みんなで作るコンサート」をテーマにプログラム構成や手づくりボスターの作成など団体の皆さん

が地域の方と一緒にになって汗を流した成果に違ひありません。

第一部「地域の皆さん」では神楽、ピアノ演奏、尺八演奏、日本舞、フォークダンス、ギターの弾き語りなど、地元東上を中心とした出演者が次々と会場を沸かせていきました。特に小下真理子ちゃんと裕介君による「ピックベンのかね」のピアノ演奏はかわいらしく、2人には大きな拍手が送られ

ました。

第2部「篠上東Music-Lovers'」は、「ケルト人の集まり」を皮切りに、「山口百恵メドレー」など全6曲を演奏。終了後のうれしい「アンコール！」の声に応えて、「水戸黄門」と「暴れん坊将軍」の2曲を演奏してコンサートを締め括りました。

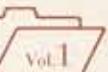
貴村さんは「いつもお世話になつている地域の方々に恩返しができればとの思いで続けてきました。特に小下真理子ちゃんと裕介君による「ピックベンのかね」のピアノ演奏はかわいらしく、2人には大きな拍手が送られました。



②ピアノ演奏をする
小下真理子ちゃんと裕介君
③神楽を披露した原口政博さん
と松本二三年さん
④ギターの弾き語りをする山本盛文さん
⑤篠上東Music-Lovers'の演奏

Diary Report

地域づくり活動取材日記



地域づくり活動を通して、広報担当の日から見た活動の様子や思った事、感じた事などを皆さんにお届けします。

KOGE

